

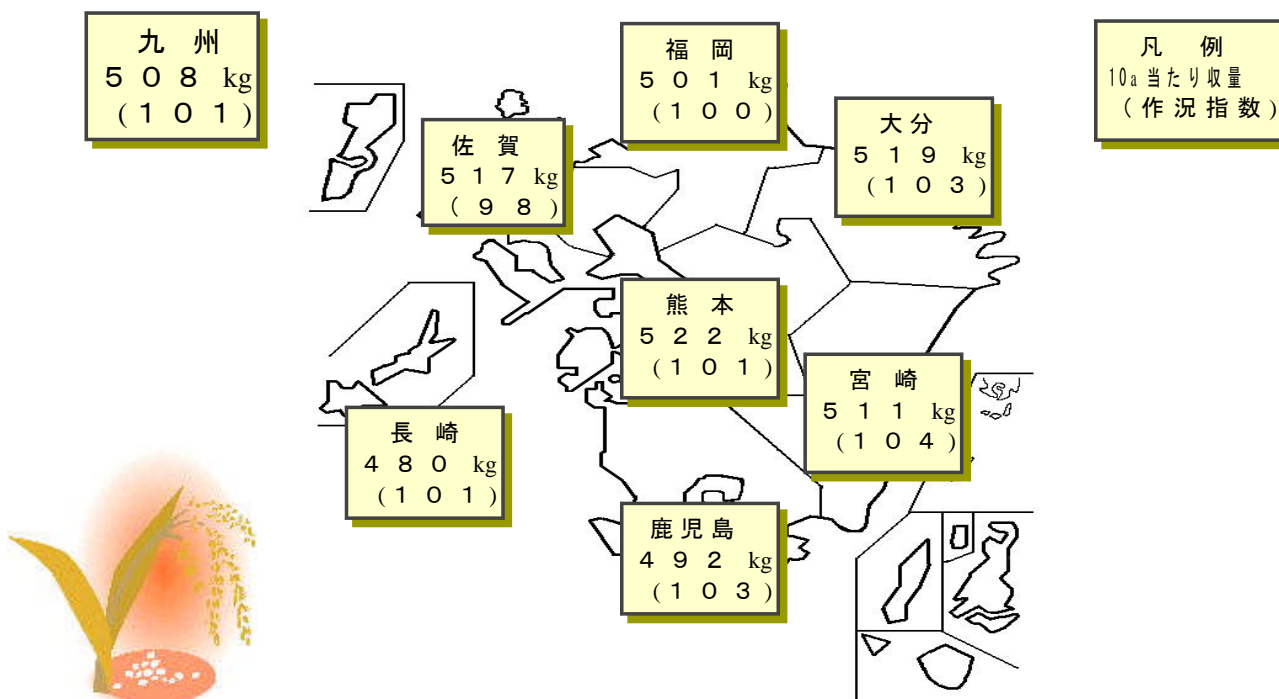
## 平成20年産水陸稲の収穫量（九州）

\_\_\_\_\_ 水稲の10a 当たり収量は508kg（作況指数101） \_\_\_\_\_  
 収穫量（子実用）は96万8,700 t

### 【調査結果の概要】

- 九州における平成20年産水稲の作柄は、梅雨明け以降高温・多照に推移したものの、主として9月中旬以降日照不足等で推移したことから、10a 当たり収量は508kg（作況指数101）、収穫量（子実用）96万8,700 tとなりました。  
 また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は96万2,600tとなりました。
- 平成20年産陸稲の収穫量は、64 t となりました。

図 平成20年産水稲の各県別10a 当たり収量



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた作付面積です。
- 主食用作付面積とは、作付面積(青刈り面積を含む) から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積です。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率です。

表 1 平成20年産水陸稲の作付面積及び収穫量

区 分	水 陸 稲 計		水 稲						
	作付面積 (子実用) ha	収 穫 量 (子実用) t	作付面積 (子実用) ① ha	10 a 当 たり 収 穫 量 ② kg	収 穫 量 (子実用) ③=①×② t	(参 考)			
						主 食 用 作 付 面 積 ④ ha	収 穫 量 (主食用) ⑤=④×② t	10 a 当 たり 平 年 収 量 ⑥ kg	作 況 指 数 ⑦=②/⑥
九州計	190 600	968 800	190 600	508	968 700	189 500	962 600	502	101
福 岡	39 600	198 400	39 600	501	198 400	39 200	196 400	499	100
佐 賀	26 900	139 100	26 900	517	139 100	26 700	138 000	528	98
長 崎	14 300	68 600	14 300	480	68 600	14 200	68 200	474	101
熊 本	39 700	207 200	39 700	522	207 200	39 300	205 100	515	101
大 分	24 800	128 700	24 800	519	128 700	24 800	128 700	503	103
宮 崎	20 400	104 200	20 400	511	104 200	20 300	103 700	493	104
早期栽培	...	...	8 790	505	44 400	...	...	475	106
普通栽培	...	...	11 600	516	59 900	...	...	507	102
鹿 児 島	25 000	122 500	24 900	492	122 500	24 900	122 500	479	103
早期栽培	...	...	5 950	467	27 800	...	...	439	106
普通栽培	...	...	19 000	500	95 000	...	...	492	102

区 分	陸 稲			
	作付面積 (子実用) ha	10 a 当 たり 収 穫 量 kg	収 穫 量 (子実用) t	(参 考) 10 a 当 たり 平 均 収 量 対 比 kg
九州計	28	229	64	-
福 岡	-	-	-	-
佐 賀	-	-	-	-
長 崎	1	208	3	102
熊 本	7	195	14	121
大 分	0	200	0	94
宮 崎	7	224	16	104
早期栽培	...	...	...	...
普通栽培	...	...	...	...
鹿 児 島	13	238	31	107
早期栽培	...	...	...	...
普通栽培	...	...	...	...

- 注: 1 水陸稲計の作付面積、収穫量及び主食用作付面積はラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しません。
- 2 収穫量(子実用及び主食用)の九州計は県の積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しません。
- 3 「-」は事実のないもの、「…」は事実不詳又は調査の欠くものを示します。

本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【 [http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht\\_all.html](http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_all.html) 】

この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】P11に掲載しています。

## 【解 説】

### －水稻の作柄概況等について－

#### 1 作柄概況

##### (1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

もみ数は、穂数がやや少なかったことから、やや少ないないし平年並みとなりました。  
登熟は、出穂期以降天候に恵まれたことから、良好となりました。  
このことから、10a当たり収量は宮崎505kg（作況指数106）、鹿児島が同467kg（同106）となりました。

##### (2) 普通栽培水稻

もみ数は、穂数がやや多かった長崎、熊本、大分、宮崎及び鹿児島ではやや多くなり、穂数が平年並みであった福岡及び佐賀では平年並みないしやや少なくなりました。

登熟は、出穂以降比較的高温で推移したものの、主として9月中旬以降日照不足で推移したこと、最低気温が平年を上回って推移し気温日較差が小さかったこと、また、南九州を中心とした地域の一部において、秋雨前線や台風による倒伏及び穂発芽等が発生したことから、登熟は九州全体として平年並みとなりました。

このことから、10a当たり収量は福岡501kg（同100）、佐賀517kg（同98）、長崎480kg（同101）、熊本522kg（同101）、大分519kg（同103）、宮崎516kg（同102）、鹿児島は500kg（同102）となりました。

この結果、九州の10a当たり収量は508kg（同101）となりました。

#### 2 収穫量

収穫量（子実用）は96万8,700tとなりました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量に乗じた収穫量（主食用）は96万2,600tとなりました。

#### 3 被害状況

早期栽培では、気象被害、病虫害の発生がともに少なかったことから、被害は少なくなりました。

普通栽培では、長崎、熊本、大分、宮崎及び鹿児島の一部の地域において、台風第13号、第15号の接近又は秋雨前線に伴う降雨等により、倒伏、もみずれ、葉先の裂傷、穂発芽等の気象被害が発生しました。

病虫害については、いもち病、紋枯病、内穎褐変病又はもみ枯細菌病の発生が一部の地域で見られたものの、被害は軽微でした。

表 2 平成20年産水稻の県別作柄概況

区 分	10a 当たり 収 量 ①	(参 考)		刈 取 期					穂 数 の 多 少	1 穂 も 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否
		10a 当たり 平年収量 ②	作況指数 ③=①/②	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較					
							平年 比較	前年 比較				
( 平 年 比 較 )												
<b>福 岡</b>	<b>501</b>	<b>499</b>	<b>100</b>	9. 2	10. 4	10.24	並み	1日遅	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 岡	487	481	101	8.25	10. 8	10.16	2日早	2日遅	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み
北九州・豊前	491	481	102	8.23	9.19	10.19	2日早	2日遅	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
筑 豊	488	485	101	8.18	9.23	10.18	1日遅	5日遅	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
北筑後	518	519	100	9.21	10.12	10.30	並み	並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
南筑後	512	517	99	9.23	10.13	10.28	2日遅	並み	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
<b>佐 賀</b>	<b>517</b>	<b>528</b>	<b>98</b>	<b>9. 1</b>	<b>10. 9</b>	<b>11. 1</b>	<b>1日遅</b>	<b>4日遅</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや少ない</b>	<b>やや少ない</b>	<b>平年並み</b>
佐 賀	525	537	98	9.17	10.10	11. 2	1日遅	4日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み
松 浦	486	492	99	8.23	9.25	10.20	1日早	1日遅	平年並み	平年並み	やや少ない	平年並み
<b>長 崎</b>	<b>480</b>	<b>474</b>	<b>101</b>	<b>8.25</b>	<b>10.11</b>	<b>10.26</b>	<b>2日遅</b>	<b>4日遅</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
西 彼	478	476	100	9.28	10. 4	10.12	5日遅	6日遅	やや多い	やや多い	多 しい	不 良
東南部	511	509	100	10. 2	10.14	10.28	1日遅	4日遅	やや多い	少ない	やや少ない	平年並み
県 北	459	457	100	8.28	10.13	10.25	3日遅	3日遅	やや多い	やや多い	やや多い	やや不良
五 島	437	407	107	8.15	9.28	10. 9	2日遅	5日遅	平年並み	やや多い	やや多い	良
壱岐・対馬	461	442	104	8.22	9.27	10.13	1日遅	1日遅	多 しい	平年並み	やや多い	平年並み
<b>熊 本</b>	<b>522</b>	<b>515</b>	<b>101</b>	<b>8.15</b>	<b>10.10</b>	<b>10.27</b>	<b>4日遅</b>	<b>4日遅</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
県 北	532	528	101	10. 4	10.16	10.26	3日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
阿 蘇	537	510	105	9.10	10. 5	10.21	10日遅	9日遅	やや少ない	多 しい	やや多い	平年並み
県 南	509	510	100	9.10	10.13	11. 3	2日遅	5日遅	やや多い	やや多い	やや多い	やや不良
天 草	456	437	104	7.29	8. 8	10.10	並み	1日早	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
<b>大 分</b>	<b>519</b>	<b>503</b>	<b>103</b>	<b>9.15</b>	<b>10.16</b>	<b>10.26</b>	<b>2日遅</b>	<b>5日遅</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
北 部	518	517	100	9.15	10.18	10.27	並み	4日遅	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み
湾 岸	522	500	104	9.11	10.16	10.25	1日遅	5日遅	多 しい	やや少ない	やや多い	平年並み
南 部	513	498	103	9.20	10.16	10.27	3日遅	4日遅	やや多い	やや多い	多 しい	やや不良
日 田	526	490	107	9.10	10. 7	10.21	4日遅	9日遅	多 しい	やや少ない	多 しい	良
<b>宮 崎</b>	<b>511</b>	<b>493</b>	<b>104</b>	...	...	...	...	...	...	...	...	...
早期栽培計	<b>505</b>	<b>475</b>	<b>106</b>	<b>7.26</b>	<b>7.31</b>	<b>8. 7</b>	<b>1日遅</b>	<b>1日早</b>	<b>やや少ない</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>良</b>
広域沿海	505	475	106	7.26	7.31	8. 7	1日遅	1日早	やや少ない	やや多い	平年並み	良
普通栽培計	<b>516</b>	<b>507</b>	<b>102</b>	<b>10. 3</b>	<b>10.16</b>	<b>10.28</b>	<b>3日遅</b>	<b>5日遅</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>やや不良</b>
広域沿海	471	469	100	9.27	10.13	10.23	4日遅	5日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
広域霧島	538	527	102	10. 5	10.17	10.31	並み	3日遅	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
西北山間	500	486	103	10. 1	10.12	10.21	6日遅	8日遅	多 しい	平年並み	多 しい	やや不良
<b>鹿 児 島</b>	<b>492</b>	<b>479</b>	<b>103</b>	...	...	...	...	...	...	...	...	...
早期栽培計	<b>467</b>	<b>439</b>	<b>106</b>	<b>7.26</b>	<b>8. 2</b>	<b>8.12</b>	<b>2日遅</b>	<b>2日早</b>	<b>やや少ない</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや少ない</b>	<b>良</b>
薩摩半島	472	440	107	7.27	8. 2	8. 9	2日遅	3日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	良
大隅半島	474	449	106	7.27	8. 3	8.15	1日遅	3日早	やや少ない	平年並み	少ない	良
熊毛・大島	441	412	107	7.17	7.25	8. 2	5日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	良
普通栽培計	<b>500</b>	<b>492</b>	<b>102</b>	<b>10. 4</b>	<b>10.15</b>	<b>10.28</b>	<b>2日遅</b>	<b>2日遅</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
薩摩半島	485	473	103	10. 4	10.13	10.20	3日遅	5日遅	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
出水薩摩	503	491	102	10. 4	10.19	11. 5	5日遅	6日遅	やや多い	平年並み	多 しい	平年並み
伊佐始良	511	512	100	10. 7	10.18	10.28	1日遅	2日遅	多 しい	やや少ない	やや多い	やや不良
大隅半島	487	471	103	9.27	10. 7	10.20	並み	1日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良

注：刈取期の始期とは刈取面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

表3 平成20年産水稻の被害種類別被害面積及び被害量(県別)

区 分	総 数		気象被害					
			計		うち 風水害		うち日照不足	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	552 100	97 500	219 800	47 200	50 200	13 400	130 800	24 700
福 岡	90 900	15 300	41 000	9 350	1 620	119	20 500	6 060
佐 賀	70 400	18 500	31 900	12 200	2 190	604	15 600	6 260
長 崎	48 400	6 810	25 500	3 490	10 300	1 870	13 000	1 350
熊 本	109 700	17 500	47 400	8 570	14 500	3 930	30 000	4 500
大 分	65 000	9 250	19 900	3 160	1 460	608	17 900	2 500
宮 崎	67 100	12 600	26 100	4 850	5 650	2 160	20 400	2 660
鹿児島	100 700	17 600	28 100	5 510	14 500	4 070	13 400	1 390

区 分	病害						虫害	
	計		うち いもち病		うち 紋枯病		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	185 700	33 400	56 400	13 500	68 300	13 100	127 700	13 800
福 岡	24 300	2 710	5 760	899	6 180	671	21 300	2 480
佐 賀	21 200	4 350	4 330	1 130	12 000	2 500	16 600	1 710
長 崎	13 600	2 000	3 970	550	3 900	552	7 850	792
熊 本	31 900	5 430	7 820	1 620	10 500	1 800	27 100	3 030
大 分	33 500	4 760	8 990	1 880	10 200	2 060	10 400	825
宮 崎	27 500	6 280	12 500	3 700	9 890	1 870	12 100	1 130
鹿児島	33 600	7 880	13 000	3 730	15 600	3 610	32 400	3 830

区 分	虫害				その他	
	うち ウンカ		うち カメムシ		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	10 600	1 430	19 700	3 470	18 900	3 070
福 岡	2 190	244	3 020	395	4 340	711
佐 賀	416	89	3 160	374	650	227
長 崎	1 210	221	1 170	127	1 450	524
熊 本	1 720	265	2 690	638	3 250	420
大 分	3	0	1 040	453	1 200	500
宮 崎	2 370	200	3 410	471	1 410	295
鹿児島	2 730	407	5 210	1 010	6 560	389

注： 1 被害面積の総数並びに気象被害、病害及び虫害の計は、被害種類別面積の延べ数であり、同一地域で2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上しています。  
 2 被害面積及び被害量については、ラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しません。

【参考 1】

平成20年産水稻の作柄表示地帯別の作況指数

区 分	作況指数	区 分	作況指数
<b>福 岡</b>	<b>100</b>	<b>宮 崎</b>	<b>104</b>
福 岡	101	広域沿海	105
北九州・豊前	102	広域霧島	102
筑 豊	101	西北山間	103
北筑後	100	<b>早期栽培計</b>	<b>106</b>
南筑後	99	広域沿海	106
<b>佐 賀</b>	<b>98</b>	<b>普通栽培計</b>	<b>102</b>
佐 賀	98	広域沿海	100
松 浦	99	広域霧島	102
<b>長 崎</b>	<b>101</b>	西北山間	103
西 彼	100	<b>鹿 児 島</b>	<b>103</b>
東南部	100	薩摩半島	104
県 北	100	出水薩摩	102
五 島	107	伊佐始良	100
杵岐・対馬	104	大隅半島	104
<b>熊 本</b>	<b>101</b>	熊毛・大島	107
県 北	101	<b>早期栽培計</b>	<b>106</b>
阿 蘇	105	薩摩半島	107
県 南	100	大隅半島	106
天 草	104	熊毛・大島	107
<b>大 分</b>	<b>103</b>	<b>普通栽培計</b>	<b>102</b>
北 部	100	薩摩半島	103
湾 岸	104	出水薩摩	102
南 部	103	伊佐始良	100
日 田	107	大隅半島	103

【参考 2】

平成20年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程三等の品位(整粒歩合45%)以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としています(【参考4】参照)。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅別の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量を示すと次のとおりです。

1 農業地域別

単位 { 重量割合 : %  
平均対差 : ポイント

農業地域	区分	合計	ふるい目幅					
			2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
九州	重量割合	100.0	64.0	23.8	5.2	3.2	2.3	1.5
	平均対差		7.3	△ 4.9	△ 1.3	△ 0.7	△ 0.2	△ 0.2
福岡	重量割合	100.0	65.0	23.0	5.2	3.2	1.9	1.7
	平均対差		7.7	△ 4.9	△ 1.6	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.1
佐賀	重量割合	100.0	62.8	23.9	4.9	4.1	2.6	1.7
	平均対差		6.6	△ 3.9	△ 1.8	△ 0.8	0.0	△ 0.1
長崎	重量割合	100.0	60.1	26.3	6.0	3.8	2.3	1.5
	平均対差		7.1	△ 3.1	△ 0.8	△ 1.4	△ 1.0	△ 0.8
熊本	重量割合	100.0	65.3	22.9	4.8	2.9	2.4	1.7
	平均対差		8.2	△ 5.8	△ 1.3	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.1
大分	重量割合	100.0	57.6	27.3	6.7	3.8	3.3	1.3
	平均対差		4.0	△ 2.2	△ 1.2	△ 0.5	0.0	△ 0.1
宮崎	重量割合	100.0	68.2	22.1	4.6	2.5	1.5	1.1
	平均対差		10.9	△ 8.2	△ 1.6	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
鹿児島	重量割合	100.0	67.2	22.6	4.5	2.7	1.8	1.2
	平均対差		9.5	△ 6.1	△ 1.5	△ 1.2	△ 0.4	△ 0.3

単位: kg

農業地域	区分	10a 当たり 収量 (1.70mm 選別)	選別ふるい目幅別10a当たり収量				
			2.00mm 選別	1.90mm 選別	1.85mm 選別	1.80mm 選別	1.75mm 選別
九州		508	325	446	472	489	500
福岡		501	326	441	467	483	492
佐賀		517	325	448	474	495	508
長崎		480	288	415	444	462	473
熊本		522	341	460	485	501	513
大分		519	299	441	475	495	512
宮崎		511	349	461	485	498	505
鹿児島		492	331	442	464	477	486

- 注 : 1 平均対差に用いた平均値は、直近5カ年の重量割合の平均値です。  
 2 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。  
 3 台風等により未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

## 2 累年データ（九州）

単位：%

区 分		計	2.00mm 以 上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
九 州 (年産別)	平.16年産	100.0	53.0	30.0	7.3	4.5	3.1	2.1
	17年産	100.0	55.5	29.2	6.7	4.1	2.6	1.9
	18年産	100.0	48.2	33.0	8.6	5.2	3.0	2.0
	19年産	100.0	65.3	23.7	4.8	3.1	1.9	1.2
	20年産	100.0	64.0	23.8	5.2	3.2	2.3	1.5

### 【参考 3】

**農家を使用した選別ふるい目幅の分布**  
【平成20年産水稻作況標本(基準)筆農家からの聞き取り結果】

単位：%

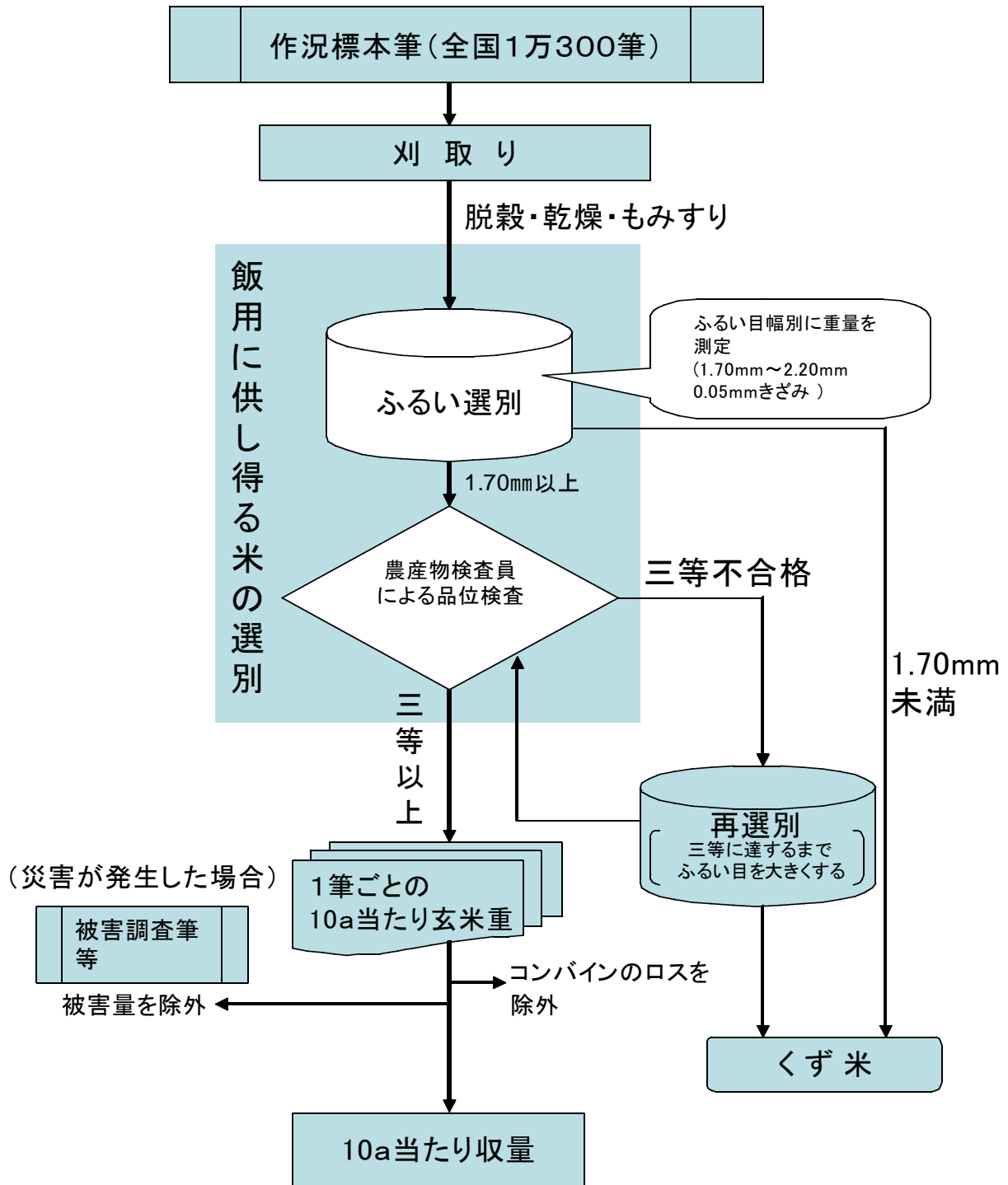
区 分	計	2.00mm 以 上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
九 州	100.0	-	4.1	43.0	49.8	2.0	1.1
福 岡	100.0	-	-	80.5	18.8	0.7	-
佐 賀	100.0	-	22.4	73.6	4.0	-	-
長 崎	100.0	-	-	25.0	55.4	9.5	10.1
熊 本	100.0	-	4.5	49.8	44.9	0.7	-
大 分	100.0	-	-	27.9	67.2	4.9	-
宮 崎	100.0	-	-	-	100.0	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	11.1	88.9	-	-

注：この表は水稻作況標本（基準）筆調査農家を使用した割合です。

【参考 4】

## 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考5】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等以上の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測しています（下図参照）。



【参考 5】

ふで  
作況標本筆とは

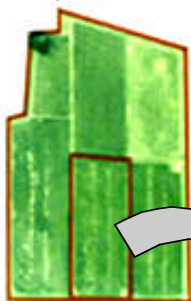
ふで  
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万300筆)調査しています。

都道府県内の全耕地  
(母集団)



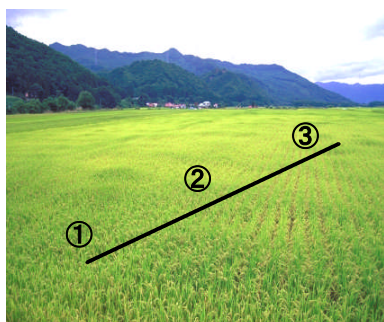
① 都道府県ごとの耕地を、2 haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいきます。

標本単位区  
(約2 ha)



② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としています。

作況標本筆  
(全国で約1万300筆)



③ 各作況標本筆の対角線上の3か所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っています。

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び稲調査の中の水陸稲の収穫量調査として実施し、水陸稲の作付面積、作柄状況、予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

### 2 調査期間

- (1) 作付面積調査
  - ア 水 稲：7月15日現在
  - イ 陸 稲：収穫期
- (2) 収穫量調査
  - 水陸稲：収穫期

### 3 調査方法

- (1) 作付面積調査
  - ア 水稲：標本単位区に対する統計・情報センター職員及び統計調査員による実測調査並びに同センター職員による巡回・見積りにより行いました。
  - イ 陸稲：関係団体に対する郵送調査及び職員による巡回・見積りにより行いました。
- (2) 収穫量調査
  - ア 水稲：作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する統計・情報センター職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行いました。
  - イ 陸稲：関係団体及び標本経営体に対する郵送調査並びに統計・情報センター職員による巡回・情報収集により行いました。

### 4 調査対象数

- (1) 作付面積調査
  - ア 水稲：標本単位区：5,895単位区 巡回・見積り：250市町村
  - イ 陸稲：関係団体：3団体 巡回・見積り：250市町村
- (2) 収穫量調査
  - ア 水稲：作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：179筆 巡回・見積り：250市町村
  - イ 陸稲：関係団体：3団体 巡回・情報収集：250市町村

### 5 用語の解説

- 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものです。  
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲を含みます。
- 「穂数の多少」は、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。
- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～ 98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。
- 10a当たり平年収量とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収

量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

- 10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量（過去7ヶ年の実績値のうち、最高、最低を除いた5ヶ年の平均値）と当年産の10a当たり収量の対比をいいます。
- 被害面積とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合にとれ得ると見込まれる収量（被害なかりせば収量）から減収した面積をいいます。
- 被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合にとれ得ると見込まれる収量（被害なかりせば収量）より減収した量をいいます。

#### 【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計>公表一覧

[http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht\\_all.html](http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_all.html)

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

#### 問い合わせ先

##### ◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4753・4754

直通電話： 096-353-7574

##### ◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4723

直通電話： 096-353-7556